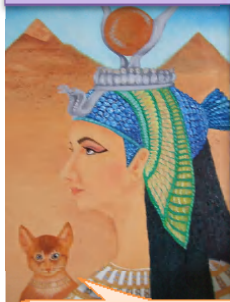


まずはわざと気を引いて虜にしたアントニーを
翻弄するクレオパトラの嵐のような情熱から



逃げる安珍を蛇となって
追いかけて焼き殺す清姫へ

夫の寿命を
縮める丙午
放火の罪人
[八百屋お七]

座布団は「恋
娘昔八丈」入
婿殺人未遂
[白子屋お熊]

さてお七もお熊も鈴ヶ森で処刑されるが
藤尾は大森から返してやろう

父に従って愛を失い死へ赴いたオフィーリア
父に背いて愛を得られず死を迎えた藤尾
戸籍が出来た申年に生まれた糸子のように自立した
心で真実の愛を掴めればよかった



炎の美女の片輪車は
「我を見るより
我が子を見ろ」という
藤尾に掛けた
友禅の片輪車は
水の流れにたゆとう

MMXIII X XXIX JUNKO HIGASA

『虞美人草』
原作・脚本
演出・構成
夏目漱石
コメント
[凝りすぎて
肩が凝った]